

「黄檗 拭漆手許筆筒 春暁」 黄檗の木の木目を意匠の見どころとして制作した手許筆筒。和室で座った時の目線に留意し、室内に置いて圧迫感を感じさせないよう、また、小さな花瓶など飾れるような大きな開口部と側面に透かしを入れ、軽やかな雰囲気仕上げた筆筒。京指物の特徴である全体の線の細さにも配慮しました。

「枳拭漆文机 育雁」 枳の木の縮み杓を使い、拭き漆で仕上げた文机。4隅に4本の脚ではなく、両側に3本ずつの6本脚とし、脚台にも天板にも凹面のデザインを施したことで、個性的ですが和洋を問わない自在性が生まれた作品。縮み杓の模様が独特の表情を醸し出しています。

「雑貨・小物類」 受注により製作する家具とは別に、時計、スタンドの脚、おしぼりトレイ、コースター、アクセサリー、菓、文箱など自由な発想と木の特性を生かした雑貨を制作し、木の命を最後まで生かす工夫をしています。材料と技法の面白さを併せ持った作品の制作を心がけたいと思います。

岩井 雄介

2010年京都伝統工芸大学校木工コース卒業。

2014年山乃井木工房設立。

同年「京もの認定工芸士」認定。

〒622-0324

京都府船井郡京丹波町八田松尾4番地

山乃井木工房

Eメール yamanoimokkoubou@kyoto.zaq.jp



「適材適所」の発想で

木の命と個性を生かす

京都府北西部の山野に囲まれた地で、樺、枳などの広葉樹を主な材料とし、筆筒や机、机などを作る傍らコーナースターやおしぼりトレイ、菓や時計などのインテリア雑貨も手掛けています。自然豊かな土地で生活することで日々新たな発見をし、制作中も木に教わりながら制作しています。仕上げには漆芸の技法も使いながら、木の持つ個性を見定め特長を伸ばす作品づくりに努めています。

◆京もの認定工芸士とは：

京都の伝統工芸品(京もの)の製造に従事し、特に優れた技術をもった意欲ある若手職人に京都府知事から授けられる称号。

京もの認定工芸士 第91号

いわい
岩井 雄介
ゆうすけ

